



実証期間：2020年（令和2年）12月～2021年（令和3年）3月

目的

- セミセルフレジの効果検証（レジ清算能力が高く、窓口での混雑の防止等が期待できると同時に、現金や人との接触を抑制し、感染症リスク低減効果が期待できる。）
- RPAの効果検証（職員減少を補うための労働力の確保や、ロボットによるミスのない作業による労働生産性の向上が期待できる。）

背景・課題

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、キャッシュレス決済を導入するが、現金を取り扱いたい利用者に向けては、滞在時間の減少、接触の機会の防止に取り組む必要がある。

事業のポイント

- ✓ RPAを利用することによるコストカットの効果
- ✓ 事業者へのカスタマイズ費用の抑制（職員がノンコードでシナリオ作成することにより、委託料の圧縮が可能になる。）
- ✓ リプレース対応（本来はリプレースに併せた調整が必要になるが、改修費用が不要になる。）

期待される効果

- ✦ 事業者への委託料の削減
- ✦ 作業時間の短縮
- ✦ 職員のスキルアップ
- ✓ ヒューマンエラーの減少

推進体制

市民課市民年金係…窓口実務担当
デジタル化推進係…制度設計担当
北海道日立システムズ…RPA (UiPathリセラー)
株式会社ビジコム…セミセルフレジメーカー

概要

業務プロセス

① 現金取引

セミセルフレジを使って取引

② 日次メ作業

窓口終了でレジスターメ作業
ジャーナルの出力
共有ファイルへ転送



完全自動化

③ 日計表の自動作成

日計表と現金の額確認
RPA用データ出力



④ RPAで財務会計伝票作成

RPAで財務会計ログイン
RPAで調定、納入伝票を自動作成・印刷

従来との比較と効果

	Before	After	効果
利用者	口頭、トレー渡し	結果表示、機械投入	<ul style="list-style-type: none"> ● 感染防止 ● 滞在時間減少
レジスター	印字のみ	データ化	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報集約からの分析 ● 現金取扱精度向上
職員	手作業での入力、集計	RPA、Scriptによる自動化	<ul style="list-style-type: none"> ● RPAを使った効率化 ● リアルタイム集計 ● 人員配置見直し

事業費

セミセルフレジ導入 約100万円
RPAライセンス 約30万円

担当者より

セミセルフレジはヒューマンエラー防止効果が非常に高くデータ精度が高いため、効果的にRPAによる自動化・効果検証に踏み込みました。